



三月十三日、第八十九回自由民主党大会が都内のホテルで開催されました。「信頼と共感の政治」を全国各地で進め、党一丸となり公示と見込まれる日までに残りおよそ百日と迫った参院選を勝ち抜くことを誓いました。岸田総裁は演説の冒頭、ウクライナ情勢についてロシアの暴挙を強く非難し「アジアを含む国際秩序の安定のため、力を合わせていこう」と呼び掛けました。



三月十二日、青年部・青年局、女性局合同全国大会が今年三年ぶりとなる集合形式で開催されました。翌日の党大会で承認をされましたが、新たに地方議員センターを設置すること、党本部と都道府県連合会との連携強化のため、新たに党則に定める機関として、全国政務調査会長会議、全国女性局長会議及び全国青年局長会議を明記することなどの説明がありました。

党本部青年局・女性局と県連青年局・女性局とでしっかりと連携し、参議院選の必勝に向けて取り組みを進めてまいります。



岸田首相が来県

三月十二日、岸田首相が陸前高田市の追悼・祈念施設を訪れ、献花の後、黙とうをささげました。記者団に対して「震災や原発事故の貴重な教訓を後世にしっかりと残し継承し、防災や減災に活かしていくことは私たちの責務だ」と述べ、復興と教訓継承への決意を示しました。

県連としても政府与党と力を合わせて復興の完遂に向けて、しっかりと取り組んでまいります。

第八十九回自由民主党大会

青年部・青年局、女性局合同全国大会

が自ら変われることを示し、国民の信頼を確たるものにする」と述べ、「われわれがやるしかない」と、政治の安定へ自公連立政権が国難に立ち向かう決意を力強く示しました。

また優秀党員として、水本孝さん（矢巾町）、佐藤弘吉さん（岩手町）、照井寛幸さん（北上市）が、優秀党組織として花巻市支部、久慈市支部が表彰を受けました。

広瀬めぐみ候補予定者も全国の党員に対して紹介され、「改めて気の引き締まるおもいでした」とのこと。この夏の戦いに向けて党本部、県連一丸となつてしっかりと取り組んでまいります。

